



「年頭所感」

会長 嶋 倉 昭



新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族健やかに新しき年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、我が江別のスポーツ界にとって、画期的な出来事がいくつかありました。2月のソチでの冬季オリンピックには市内の大学生を中心としてアイスホッケー、リュージュに6人の選手が出場したことであります。また3月には、とわの森三愛高校女子ソフトボール部が全国高等学校選抜大会で、悲願の全国優勝の快挙をなしとげたことです。雪国のハンディをものともせず全て、接戦の末の優勝であり、体育協会としても最優秀特別賞をもってその栄誉を讃えました。

続いては、陸上10種競技の江別出身右代啓祐選手の後援会が、7月14日当初の計画を大きく上回る会員加入の中で発足しました。その上、10月1日の仁川アジア大会では、公約どおり見事優勝し、金メダルを持って故郷に凱旋しました。今年の世界陸上、来年のリオでのオリンピックに大いに期待したいものです。

江別はスポーツ施設が他市に比して充実していると判断しています。加えて地域的利便性も相まって全道、全国規模の大会が結構開催されております。今年も8月に江別市で、全国中体連の体操競技が計画されております。来年は天皇賜杯全国軟式野球大会の計画もあるようです。こうした施設の豊富さを全面に打ち出して、2020年の東京オリンピック開催を意識した合宿誘致推進が検討されており、いずれ体育協会も競技の統括団体として大きくかかわっていかねばならないと思っております。

子どもたちのスポーツばなれが言われて久しい。ある小学校の校長先生が子どもたちになぜ少年団活動をしないうのか聞いたところ、その大きな理由は、一つは家の経済事情を子どもなりに真剣に考えていること、もう一つは少年団の練習、遠征等で送り迎えに参加できないこと（特に共稼ぎ家庭）をあげていたとのことでした。少年団に入っている子どもはスポーツ活動をやりたい子どもの2割程度でないかと言っておりました。少子化、スポーツばなれ等々以外のところで現実的な状況を突き付けられた思いです。これからどうしていくべきかを、真剣に考えていかねばならないと思います。

スポーツの持つ、健康、明るさ、街づくり、諸々の良さを糧に今年も元気で前に進みましょう。

スポーツワークショップ2014（石狩管内体育協会連絡協議会事業）

11月29日（土）大麻体育館を会場に「スポーツワークショップ2014」が開催され、各種スポーツ指導者等73名の参加がありました。

講師には、医療法人社団江別循環器 岩田美佐男院長をお迎えし、「循環器疾患とスポーツ」と題してスポーツを安全に楽しく有意義なものとするために、循環器疾患とスポーツ・突然死を予防するために等の講義を受けました。

午後からは、北翔大学生涯スポーツ学部 上田知行准教授をお迎えし、「知っておきたいコンディショニング」と題して運動解剖学や運動生理学の視点からスポーツパフォーマンスを最大限に高めるため、筋力や柔軟性、全身持久力など様々な体力要素の総合的な調整について、実技を交えながらの指導を受けました。

今後の指導を行ううえで有意義な講習会でありました。



《平成26年度江別市体育協会表彰》

表彰内容	個人・団体名	推薦団体
最優秀特別賞	とわの森三愛高等学校女子ソフトボール部	江別市体育協会
全国高校総体北海道予選会では15連覇を達成している強豪チームであり、全国大会では平成14年の高校総体で準優勝、平成17年の国体で準優勝など輝かしい成績を挙げてきました。平成26年3月の第32回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会において、優勝という快挙を成し遂げました。冬期間は雪に閉ざされる北国のハンディを乗り越えての全国優勝であり、市民に大きな感動を与え、江別市のスポーツの発展に大きく貢献されました。		
功 労 賞	坂上 信子	江別水泳協会
昭和60年江別レディーススイミングを発足させ、水泳の技術向上のために長年指導に当たりました。また小学生水泳教室の指導員としても、子どもたちの体力向上・水泳競技の普及拡大に尽力、江別市の水泳界に多大なる貢献されました。平成11年より江別水泳協会監事として、協会の発展にも長年にわたり貢献、現在も顧問としてご活躍されています。		
功 労 賞	野川 豊	江別バドミントン協会
平成4年から江別バドミントン協会の役員として、地域バドミントン競技の普及拡大に努め、大麻バドミントンクラブの設立や地域スポーツ振興に貢献されました。更に将来を担うジュニア層の育成に尽力し、江別バドミントンスポーツ少年団の礎を築くなど、地域のバドミントンの振興発展に寄与した功績は多大。また現在自らも競技者として、率先して全道、全国、世界のシニア大会で活躍し、優秀な成績を収めるなど他の競技者の模範となっています。		
功 労 賞	藤田 昌之	江別相撲連盟
昭和46年～54年まで江別市代表選手として、国体予選、全道選手権、全道市町村対抗、全道青年大会等の相撲大会に出場し、団体戦、個人戦で優秀な成績を残されました。また小中学生の育成活動も熱心に行い、江別相撲連盟創設期より今日までの尽力は誠に大であります。		
功 労 賞	岩野 麗子	江別ソフトテニス連盟
江別ソフトテニス連盟理事として、25年間に亘り連盟の諸活動と江別連盟主管の全道・全国大会運営役員を務め、連盟発展に大きく貢献された。また野幌クラブの代表としてクラブの発展と融和に努められています。		
功 労 賞	小池 和意	江別バレーボール協会
江別高校入学からバレーボールを始める。昭和47年に江別市役所奉職後直ちにバレー部に入部。以来、総合9人制全国大会、産業人全国大会等、数多くの全国大会に北海道代表選手の中心的プレーヤーとして活躍。平成6年名古屋国体では江別JVクラブ5位入賞の原動力として活躍。昭和57年江別バレーボール協会設立当初から常任理事として経験と知識の中で企画運営面に多大な功績を残しました。平成21年からは監事としてご活躍をされています。		
功 労 賞	笠羽 利憲	江別空手道連盟
昭和57年江別空手道スポーツ少年団として、江別市スポーツ少年団・江別空手道連盟に登録以来、少年少女への空手道普及と江別空手道連盟の組織の拡充に尽力されました。		

「加盟団体交流会」の開催

7月25日におおいビアガーデンにおいて、近年 真夏の風物詩として名高い「江別市体育協会加盟団体交流会」を開催いたしました。

当日は恵庭市体協の5名を含め、総勢122名の出席者の中、金内理事長の司会で大変和やかに進められました。

各テーブルではスポーツ談義に花が咲き、今年は特に陸上10種競技の右代啓祐選手の後援会が7月14日に発足したこともあり、大いに盛り上がっていました。

また、阿瀬川副理事長の名司会で行われた「お楽しみ抽選会」では、江別ファイターズクラブ様等から観戦チケット等たくさんの賞品が用意され、幸せと感動を感じながら、盛況の内に終了いたしました。

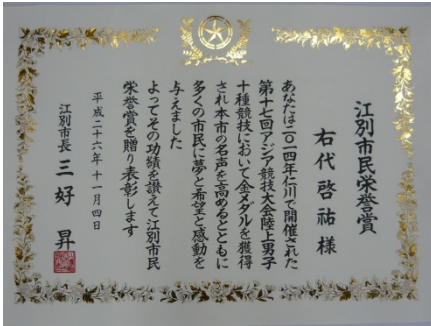
今年もあるぞ！！加盟団体交流会！！



番号	競技種目	種 別	開催日	優 勝	準 優 勝	第 3 位	江別市参加数
1	卓 球	男女混合団体戦	7/27(日)	北広島A	石狩A	石狩B	23
2	バレーボール	家庭婦人	8/ 3(日)	北広島市	石狩市	当別町	0
3	ミニバレー	男子の部	8/10(日)	千歳市	石狩A	当別町	19
		女子の部		当別町	恵庭市	石狩市	
		男女混成の部		恵庭市	江別市	石狩市	
4	パークゴルフ	男女混成	8/19(火)	恵庭市	千歳市	石狩市	12
5	軟 式 野 球	一般男子	8/24(日)	当別町	石狩市	江別・新篠津	14
6	剣 道	一般男子	8/24(日)	千歳市	江別市	当別町	29
		一般女子		千歳A	千歳B	江別市	
		年齢別		江別市	恵庭市	千歳市	
		高齢者		江別市	恵庭A	千歳市	
7	ソフトテニス	一般男子	8/24(日)	北広島市	江別市	千歳市	18
		一般女子		江別市	恵庭市	千歳市	
8	バスケットボール	一般男子	8/31(日)	江別市	当別町	千歳市	17
9	バドミントン	一般の部	9/15(祝)	江別市	恵庭市	千歳市	12
		成年の部		千歳市	江別市	恵庭市	
10	弓 道	団体戦	9/21(日)	千歳市	恵庭市	北広島市	6
江別市からは9競技にエントリーし、バスケットボールは5連覇！！ 剣道「高齢者の部」は4連覇！！ 選手の皆さま お疲れさまでした。							合計 人 150



右代啓祐選手の話題



江別市民栄誉賞 受賞第1号

韓国仁川で行われたアジア競技大会の男子陸上十種競技で、日本人として24年ぶりに金メダルを獲得した右代啓祐選手に、江別市では初めてとなる江別市民栄誉賞が贈られました。

表彰式は11月4日午後4時30分より市長公室で執り行われ、表彰状と記念品が贈呈され、右代啓祐選手後援会の嶋倉昭会長（江別市体育協会会長）ほか後援会役員が出席しました。

金メダル報告会・祝勝会～学校訪問

右代啓祐選手の金メダル報告会・祝勝会が、右代啓祐選手後援会の主催で11月4日午後6時より野幌の「あおい」で開催されました。

嶋倉会長が「一番いい色のメダルを獲得してくれた。素晴らしい成績に江別の子供達も喜んでいる。」とあいさつ。市内8小中学校からの児童生徒約480名の激励作文と寄せ書きが大麻泉小学校の久保田隼平君、大麻東中の野村侑莉さんからそれぞれ手渡されました。

右代啓祐選手は「4年前の広州アジア大会では4位と悔しい思いをしたので、必死に練習をしてきた。今回は皆さんの応援を受け、

金メダルをとれてうれしい。来年の世界陸上、再来年のリオでも必ずメダルを取って来ます。」と約束しました。三好昇江別市長、白髭俊穂道体協専務理事のお祝いの言葉等の後、右代選手は各テーブルを回り参加者と交流しました。

次の5日は右代選手の母校、大麻泉小学校と大麻東中学校を訪問し、児童生徒の大歓迎を受けました。両校では、右代選手がアジア大会の映像を見ながら各種目や競技中の気持ちを紹介。その後、身長196センチの大きな先輩と記念撮影し、金メダルにも触れながら大興奮でした。



北海道知事から感謝状

11月6日に、高橋はるみ北海道知事より感謝状が贈られました。金メダルを胸に道庁を訪れた右代選手に、高橋知事は「苦しいトレーニングを積んで高みを目指す姿は、多くの道民に夢や希望を与えてくれました。」と健闘を称え、感謝状を手渡しました。（11月7日付北海道新聞より）

2014北海道新聞社スポーツ賞

2014年のスポーツ界で目覚ましい活躍、貢献をした北海道ゆかりの選手、チーム、指導者に贈る2014北海道新聞スポーツ賞に、右代選手が選ばれました。発表された12月2日の記事では「今年最も「化けた」陸上選手の1人だろう。今シーズンは日本選手権混成など2度の国内大会で自身のもつ日本記録を大きく更新した。勢いそのままに臨んだ仁川アジア大会では最終種目の1500mで2位から逆転し、日本人では24年ぶり同種目金メダリストとなった」と紹介しています。

右代啓祐選手2015世界陸上選手権大会の参加標準記録を突破！！

今年の8月22日から北京（中国）で開催される世界陸上選手権大会の出場資格である参加標準記録が発表になり、十種競技については「8075点」とされました。

これまでは、A標準（3名まで出場できる）とB標準（1名まで出場できる）の2つがありましたが、今回からは参加標準記録はひとつの標準記録のみとなりました。

世界陸上選手権大会に出場するためには、2014年1月1日から2015年8月10日までに参加標準記録を上回る必要があります。

また、日本陸上競技連盟が制定した世界陸上選手権大会（2015/北京）日本代表選手選考方針では、選考基準を「参加標準記録を満たした日本選手権優勝者」としています。

今後、日本陸上競技連盟において日本代表選手が最終選考される予定ですが、右代啓祐選手は、2014年6月1日の日本選手権大会において「8308点」の得点で優勝しており、選考方針の基準をクリアしていますので、日本代表選手として世界陸上選手権大会での活躍が大いに期待されます。

平成26年 大会&成績

第9回講道館柔道「形」北海道演技会

江別柔道連盟

9月21日に旭川市総合体育館にて開催しました。
投の形の1部・2部があり、「2部投の形」に江別から江別スポーツ少年団の中学生3組が出場しました。

結果、「2部投の形」で佐藤・小野田組が優勝、畑・佐藤組が3位、岩井・豊島組が敢闘賞になりました。



江別バレーボール協会

第34回全日本バレーボール小学生大会南北海道大会 (苫小牧市)

江別中央ガッツ 男子 準優勝
江別中央ジャンプ 女子 ベスト8進出
大麻泉ラモーズ 混合 準優勝

第44回北海道中学校バレーボール大会(帯広市)

江別中央中男子バレーボール部 準優勝

第67回全日本高等学校バレーボール選手権大会北海道代表決定戦(札幌市)

とわの森三愛高校男子バレーボール部 第3位
江別高校男子バレーボール部 3回戦進出
とわの森三愛高校女子バレーボール部 1回戦敗退
大麻野幌合同チーム 1回戦敗退

第12回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会 (深川市)

江別中央ガッツ 男子 ベスト4進出
江別中央ジャンプ 女子 ベスト8進出

野球シーズンを終えて

江別野球連盟

野球大会も10月19日(日)を最後に連盟大会、石狩支部(江別・石狩・当別の各連盟)12支部大会、後援大会等が毎日曜毎開催され、各関係者・審判部員・事務局等の協力で無事に終了できましたことに感謝いたします。

連盟関係3大会も江別市制施行60周年記念江別市民大会の成年の部が数年振りに開催され、華を添えたところであります。

石狩支部大会においては、昨年同様に当連盟所属8チームが石狩支部代表として全道大会に出場し、活躍健闘しましたが、高松宮賜杯2部大会で鉄東スワローズが準優勝でした。

また、今年度2回目となりました少年(中学生)野球教室を、北翔大学硬式野球部大西部長(準教授)・硬式野球部員の指導で、市内中学生関係者50人が野球の基本練習を受けて、青少年のスポーツに対する健全な発達助成に寄与出来た事に感謝し報告といたします。

第41回日独スポーツ少年団同時交流に参加して 「一生の思い出」

野幌空手道スポーツ少年団 杉本 佳亮

ドイツに行く前日の東京にいるときや事前研修をしているときは、日独同時交流が楽しみで仕方なかった。ホームスティも不安はなかった。高校生のときに一度ホームスティをしたことがあったからだ。

この交流でいろんなことを学んだ。

一つ目は、ドイツでは昔の出来事を忘れないためや次の世代に伝えていくために、建造物など目に見えるかたちで残しているものが数多くあった。日本にもあると思うがドイツよりは少ないことで、昔の出来事が風化されやすいのではないかと思った。

二つ目は、スポーツの力である。自分たちはやはり英語が上手く使えないので、ドイツのみなさんとのコミュニケーションが難しい状況だった。しかし、一緒にスポーツをすることでスポーツを通して仲良くなることができた。ここで、スポーツには言葉がいらないということを体験した。また、スポーツをすることでみんなが笑顔になっていた。これが、日本がオリンピックの招致運動で話していたスポーツの力というものではないかと思った。

テーマディスカッションでは、自分達にできるフェアプレイということで、スポーツクラブでの指導者と生徒との関係性について話す機会があった。ここで、ドイツのスポーツクラブでの指導者の立場について知ることができ、自分の考えに幅ができたと思う。

三つ目は、仲間の大切さである。ドイツのみなさんは地方プログラムの内容を前から準備をしてくれたり、地方プログラム中には自分たちがはぐれないように前後で挟むかたちで行動してくれて頼もしかった。他の地方グループで以前にリーダースクールや交流大会で仲良くなった人と久しぶりに再会できた。リーダー会をやっていない自分としては、もう会えないと思っていたのでとても嬉しかった。

この同時交流ではいろんなことを学ぶことができ、貴重な体験となった。学んだことを生かして、これからも頑張っていこうと思う。

市民体育館の耐震補強工事完了。
体育室(7F-ナ)は1月4日から使用できます。



発行 江別市体育協会
江別市野幌町9番地 江別市民体育館内
電話 011-384-5001
編集 EASAだより編集委員会
委員長 金内晴夫
委員 鎌倉 猛、中山喜美雄、安保美幸